



発行所 秋田魁新報社  
秋田市山王臨海町1番1号  
〒010-8601  
©秋田魁新報社 2015年

# 号外

購読申し込み

0120-13-1231

ホームページ

www.sakigake.jp

携帯サイト

m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」朝刊、当社ホームページをご覧ください。

# 梶田氏にノーベル賞

## ニュートリノ質量発見

### 物理学賞

【ストックホルム共同】

スウェーデンの王立科学アカデミーは6日、2015年のノーベル物理学賞を、質量がゼロと思われていた素粒子ニュートリノに質量があることを見つけた梶田隆章・東京大宇宙線研究所

長(56)ら2人に授与すると発表した。

5日に医学生理学賞に決まった大村智北里大特別栄誉教授(80)に続く連日の受賞ラッシュ。日本人受賞者は計24人。物理学賞は、青色LEDを開発した赤崎勇名城大終身教授(86)ら3人が独占した昨年からの連続受賞で、日本の物理学の実

力を示す快挙となった。梶田氏は02年に物理学賞を受賞した小柴昌俊東京大特別栄誉教授(89)の教え子で、一つの研究チームから2度の受賞は日本初。宇宙の謎の解明に挑む日本のニュートリノ研究が、再び最高の栄誉に輝いた。

ニュートリノは、宇宙に存在する最も基本的な粒子の一つで、どんな物質もすり抜ける。梶田氏は、岐阜

県飛騨市の地下にある観測装置スーパーカミオカンデで、3種類あるニュートリノが違う種類に変身する「振動」という現象を発見し、ニュートリノの質量の存在を確かめた。理論に修正を迫る歴史的な成果と評価された。

授賞式は12月10日にストックホルムで開かれ、賞金800万珞(約1億2千万円)が2氏に贈られる。



梶田隆章・東京大宇宙線研究所長

梶田 隆章氏(かじた たかあき) 59年3月9日、埼玉県生まれ。県立川越高、埼玉大卒。81年、東京大大学院の小柴昌俊氏の研究室に進み、カミオカンデ実験に加わった。スーパーカミオカンデの建設に携わり、観測時はデータ解析責任者として日米の研究者を率いた。98年6月、岐阜県高山市の国際会議で「ニュートリノ振動の発見」を発表した。08年4月から東京大宇宙線研究所所長。99年仁科記念賞。56歳。